

## 過剰敬語の規範性と印象について —大学生への意識調査から—

### Normativity and Impression in Excessive Use of Honorifics: A Consciousness Survey to University Students

河 正一<sup>i</sup>・金井 勇人<sup>ii</sup>

HA Jeong-il and KANAI Hayato

(要旨)

本稿では、言葉の変化の過程として現れる敬語表現に焦点を当てて、二重敬語(敬語連結)、敬称、マニュアル敬語、謙譲語、不均衡な表現、さ入れ言葉、(さ)せていただく、慇懃な表現について、それらの表現における規範性と印象を調査した。そして、二つの要因の調査に基づき、敬語表現の変化の段階や揺れの原因とは何かについて、分析を試みた。

キーワード：過剰敬語、規範性、印象、揺れ、大学生(日本語母語話者)への意識調査

#### 1. はじめに

文化庁では平成7年から敬語や外来語などといった言葉に対する考え方や日本語の在り方に関する国民の意識や実態調査、すなわち「国語に関する世論調査」を行っている。その中でも特に、敬語に関する調査では、敬語に対する考え方や使い方、場面による敬語の使い分けなど、敬語の在り方や変化に注目し、継続調査として実施されている。また、敬語表現に関わるいくつかの言い方を取り上げ(例えば「先生、こちらでお待ちしてください」という言い方が気になるか、気にならないかという質問<sup>iii</sup>)、敬語使用の変化に関する意識調査も行われている。

しかし、上記の敬語表現に関わる言い方の調査は、敬語表現としての規範性の変化に注目したものの、現在の調査方法では、敬語表現の規範性の認識だけに焦点が置かれているため、表現の揺れの原因とは何か、また今後、どのような変化が見られるか、という判断材料としては不十分と思われる。

言葉の変化は、言語使用の効率化による言語内的要因や言語接触または新しいもの・概念などによる言語外的要因などが相互作用して起こるのであろう。井上(1986: 52-53)によれば、言語の変化による乱れの意識のメカニズムの根本は、現象との接触の多さ、すなわち使用頻度にある。ゆえに、新しい言語現象は、使用率が低い段階では「誤用・乱れ」と意識されるが、使用率が上昇すると共に、「揺れ」→「慣用」→「正用」と捉えられていく。

しかし、言葉の変化には、上記とは異なって、一時的に新しい現象が見られ、その後、しばらく勢力が広まるものの、次第に使われなくなってしまう場合もある。このことから、言葉の変化には、表現に対する規範性の認識だけでなく、多くの人々からの支持が必要不可欠であるが、その支持は単なる支持ではなく肯定的評価に基づいた支持でなければならない。

<sup>i</sup> 埼玉大学 日本語教育センター 非常勤講師

<sup>ii</sup> 埼玉大学 人文社会科学部 准教授

<sup>iii</sup> 平成7年度、15年度、25年度に調査が行われ、平成7年度55.6%、15年度66.0%、25年度72.6%の回答者が「気になる」と答えている。

	好印象	悪印象
表現として気にならない ⇒ 規範性が高い	A	B
表現として気になる ⇒ 規範性が低い	C	D

表 1. 規範性と印象

一般論として、以下のように考えられるだろう（表 1 参照）。

- ・表現としての規範性が高く、かつ好印象を与える A は、正用として認識されやすい。
- ・表現の規範性は高いが悪印象を与える B は、今後その使用が徐々に減っていく可能性が高い。
- ・表現の規範性は低い为好印象を与える C は、今後その使用が徐々に増えていく可能性が高い。
- ・表現としての規範性が低く、かつ悪印象を与える D は、誤用として認識されやすい。

この仮説に基づいて、本稿では、言葉の変化の過程として現れる敬語表現に焦点を置き、様々な敬語表現について、それらの表現における規範性と印象を調査する。そして、二つの要因の調査に基づき、敬語表現の変化の段階や揺れの原因とは何かについて、分析を試みる。

以下、第 2 節では、過剰敬語に関する先行研究を概観する。第 3 節では、アンケートの概要を説明する。第 4 節では、アンケート結果に基づいた分析を行う。

## 2. 過剰敬語とは

朝日・松田（2008）によれば、従来の敬語研究の枠組は、(1) 敬語の分類、形式、用法などを扱う表現的アプローチ (2) 敬語に対する意識を取り上げる社会心理学的アプローチ (3) 待遇表現としての敬語の機能や丁寧さを研究する、あるいはポライトネス理論の枠組みから敬語に光を当てる社会言語学的アプローチ (4) 敬語政策や敬語教育に重点を置く言語社会学的アプローチがある。こうした分類について、河・山中（2012：150）は、次のように述べている。

上記のアプローチはいずれも、概ね敬語の使用・不使用に関するところにその焦点が置かれていたと言えよう。すなわち、初対面における敬語使用から不使用への切り替えの方略や相手の属性によってどの程度の待遇レベルの使用・不使用が適切であるかなどといったことを論じる、適切な敬語使用の研究がその主流であった。それに対し、近年注目されているのが、過剰な敬語使用の問題である（井上 1999、野口 2009 など）。ただ、近頃の過剰な敬語使用に関する研究は、個々の使用法に関する問題点を取り上げ、適切な使用法について解説するものが多かった。例えば、「～させていただく」や「お～」「ご～」といった美化語や「さ入れことば」などの不適切な用法を適切な用法と比較して分析し、それらの用法が生じた原因を追究するといったものである（「～させていただく」に関して菊池 1997、姫野 2004 など、美化語に関して井上 2009、2010 など、「さ入れ言葉」に関して佐野 2008、山里 2010 など）。

上記の研究が個別の問題に対する具体的で現実的な解決策を探ってきたのに対し、河・山中（2012）や河（2013、2015）では、過剰敬語を含む、相手を不愉快にさせてしまう改まった待遇表現の使用全般を取り上げ、過剰敬語について論じている。まず、河・山中（2012）は、慇懃無礼にあたる言語行為について、その原型は何か、受け手の属性によって慇懃無礼の理解に違いがあるかを考察し、ポライトネス理論における慇懃無礼の扱いの問題点を指摘している。また、河（2013）では、相互言語行為として期待される言語使用よ

り丁寧な敬語使用を過剰敬語とし、過剰敬語を対人関係に関わる過剰敬語、表現形式に関わる過剰敬語、状況に関わる過剰敬語に分類している<sup>iv</sup>。

さらに、河（2015）では、過剰敬語を言葉の変化の過程として捉える。過剰敬語は、言語内部構造における拡大解釈・適用によって現れるが、単に社会の変化における言葉の変化ではなく、社会の平等化・民衆化に伴う円滑なコミュニケーションの遂行を目的とした言語方略として現れる現象である。つまり、従来の社会的言語規範としての敬語使用から相互尊重を基盤とした円滑なコミュニケーションとしての敬語使用への役割の変化が過剰敬語を促すという。

そこで、本稿も河（2015）と同様に、過剰敬語を言葉の変化の過程として捉え、論じていく。

### 3. 大学生への意識調査（アンケート）

筆者たちは、大学生（日本語母語話者）の過剰敬語についての意識を知るために、関東在住の大学生を対象に、アンケート調査を行った（調査期間：2016年11月14日～11月26日）。

アンケートの質問項目は、特定の項目だけに偏らず、敬語使用の全般に見られる過剰敬語を総合的に網羅するようにした。なお、質問に用いられた表現は、文化庁における「国語に関する世論調査」や先行研究で指摘のあった表現などを中心に作成し、それぞれの質問項目における敬語表現について、下記の例のように規範性と印象を尋ねた。

例 たまに行く居酒屋に飲みに行ったら、ドアに「今日は休ませていただきます」と書いてあった。

- |        |        |          |
|--------|--------|----------|
| ①表現として | ・ 気になる | ・ 気にならない |
| ②印象として | ・ 好印象  | ・ 悪印象    |

質問項目は、以下の通りである。

1. たまに行く居酒屋に飲みに行ったら、ドアに「今日は休ませていただきます」と書いてあった。
2. ニュース番組のアナウンサーは、「先ほど 11 時ごろ、映画監督の A さんがお亡くなりになりました」と伝えた。
3. 取引先の社員から、「暫くこちらでお待ちしてください」と言われた。
4. 洋服店で店員さんに「お洋服のお色目もよくお似合いでお値段もお手ごろ」と言われた。
5. 病院で受け付けを済ませて暫く待っていたら「25 番の患者様」と呼ばれた。
6. 隣の大学院生は「次回の発表はぜひ私にやらせていただきたいのですが」と言った。
7. 居酒屋で隣のお客さんは店員に「ビールのお代わりをもらってもいいですか」と言った。
8. 先輩から「いつでも気軽に声かけください」と言われた。

<sup>iv</sup> 滝浦（2005）によれば、敬語は距離化の表現であり、対象人物を遠くに置くことはその人物を“ソト”待遇することであり、それは、その人物を脱距離化的に“ウチ”待遇することと相反関係にある。それゆえ、敬語使用の反対面にある敬語の不使用が、対象人物を“遠くに置かないこと”によって領域の共有を表現する。滝浦（2005）の見解から、河（2013）は、対人関係における視点より距離を遠くに置く敬語使用が過剰敬語となり、視点より距離を近くに置く敬語使用が過少敬語となるという（対人関係に関わる過剰敬語）。一方、「さ入れ言葉」や「二重敬語」「マニュアル敬語」などといった特定の表現形式が過剰に用いられる敬語を表現形式に関わる過剰敬語とし、状況によって、適切な敬語使用として見做されたり、過剰敬語として見做されたりする敬語表現（例えば、「(さ)せていただく」）を状況に関わる過剰敬語とする。

9. 大学生の A さんは、就職の説明会で司会者が「本日の説明会の順序は東芝さん、日立さん、日産さんでございます」のように会社名に「さん」をつけて紹介するのを聞いた。
10. 大学院生の A さんは先生に「すみませんが、お読みになっていらっしゃる本について、一つお伺いしたいのですが」と尋ねた。
11. 不祥事を起こした社長は「誠に申し訳なく、深く反省させていただきます」と陳謝した。
12. A さんは部長に「今日はこれで帰らせてください」と言った。
13. 居酒屋で領収書を頼んだら「こちら領収書になります」と言われた。
14. 取引先の会社に電話をかけたら「鈴木課長は、ただ今席をはずしております」と言われた。
15. 受付の方に絵画展の場所を聞いたら「8階で開催してございます」と言われた。
16. スーパーの試食場で「お客様、どうぞいただきます」と言われた。
17. スーパーの食品売り場の店員から「どうぞ、お味見もいただいておりますよ」と言われた。
18. 研究発表会で発表者は「それでは、発表させていただきます」と言った。
19. 会計のとき、店員にお金を出したら「千円からお預かりします」と言われた。
20. 日帰りバスツアーの旅行会社に問い合わせしたら「その日のバスツアーは3時にご出発される予定です」と言われた。
21. 電車の中で「携帯のご使用はご遠慮させていただいております」という放送を聞いた。
22. レストランで会計をお願いしたら、「お会計の方、1万円でございます」と言われた。
23. 会議で報告が終わったら司会者から「その件については、おっしゃられるとおります」と言われた。
24. 女優の A さんは、某番組に出演して「私、このたび、入籍させていただくことになりました」と言った。

表 2. 質問項目の構成

質問項目は、以下の 8 類 24 問である。

- ・二重敬語（敬語連結）：3 問（2 番、10 番、23 番）
- ・敬称：3 問（5 番、9 番、14 番）
- ・マニュアル敬語：3 問（13 番、19 番、22 番）
- ・謙譲語：3 問（3 番、16 番、20 番）
- ・不均衡な表現：3 問（8 番、15 番、17 番）
- ・さ入れ言葉：3 問（1 番、6 番、12 番）
- ・（さ）せていただく：3 問（11 番、18 番、24 番）
- ・懇懃な表現：3 問（4 番、7 番、21 番）

有効回答者は全 52 名のうち、記入漏れ 3 名を除いた 49 名である。回答者の学年は、1 年生 32 名、2 年生 12 名、3 年生 5 名であり、年齢では、18 歳 10 名、19 歳 23 名、20 歳 7 名、21 歳 8 名、22 歳 1 名である。

		大学			合計
		A 大学	B 大学	C 大学	
性別	男性	6	0	6	12
	女性	7	18	12	37
合計		13	18	18	49

表 3. 回答者の内訳

#### 4. 分析

各項目間の回答数の多少によって調査結果をパターン化すると、以下の通りとなる（詳細は付録参照）。

- ・ A>D>C>B : 2 番、4 番、(5 番)<sup>v</sup>、6 番、(8 番)、(9 番)、13 番、14 番、19 番、21 番、22 番、23 番、24 番
- ・ D>A>C>B : 1 番、(3 番)、10 番、(11 番)、15 番、20 番
- ・ A>B>D>C : 7 番（慇懃な表現）
- ・ A>C>D>B : 18 番（(さ) せていただく）
- ・ D>B>A>C : 12 番（さ入れ言葉）
- ・ D>C>A>B : 16 番（謙譲語）
- ・ D>C>B>A : 17 番（不均衡な表現）

「表現が気になる＝文法的な規範性が低いと考えている」ことと、「印象度が悪い」こととは、理論的に考えて、相関関係にあるだろう。したがって、「A>D～」か「D>A～」の順番になるのが無標である、と考えられる。以下では、

● 無標の結果のみを得られたパターン

二重敬語（敬語連結）、敬称、マニュアル敬語

▲ 1つ以上の有標の結果が得られたパターン

謙譲語、不均衡な表現、さ入れ言葉、(さ) せていただく、慇懃な表現という順で、それぞれ具体的に論じていく。

● 二重敬語（敬語連結）

お亡くなりになられた				お読みになっていらっしゃる				おっしゃられる			
2	印+	印-	合計	10	印+	印-	合計	23	印+	印-	合計
表+	25 (A)	3 (B)	28	表+	14	3	17	表+	25	3	28
表-	4 (C)	17 (D)	21	表-	12	20	32	表-	4	17	21
合計	29	20	49	合計	26	23	49	合計	29	20	49

表 4. 二重敬語（敬語連結）

敬語の指針（2007：30）では、一つの語について、同じ種類の敬語を二重に使ったものを「二重敬語」とする。例えば、「お読みになられる」は、「読む」を「お読みになる」と尊敬語にした上で、更に尊敬語の「…れる」を加えたもので、二重敬語である。一方、「お読みになっていらっしゃる」のように、二つ（以上）の語をそれぞれ敬語にして、接続助詞「て」でつなげたものは、「敬語連結」と言い、二重敬語とは区別している。「敬語連結」は、多少の冗長感が生じる場合もあるが、個々の敬語の使い方が適切であり、かつ敬語同士の結び付きに意味的な不合理がない限りは、基本的に許容されるものであるとする。

上記の2番「お亡くなりになられた」と23番「おっしゃられる」そして10番「お読みになっていらっし

<sup>v</sup> 括弧は、2つの項目で同数の回答があった設問を意味する。すなわち、A>D>C=B（5番）またはA>D=C>B（8番、9番）のタイプも含む。次パターン（3番、11番）も同様。

やる」における印象は、いずれも「印象が良い」という回答がやや多い。しかし、正用として見做される10番「お読みになっていらっしゃる」は、32名の回答者が「表現が気になる」と答えており、2番「お亡くなりになられた」と23番「おっしゃられる」に比べ（いずれも21名）、有意に多い。このことは、敬語の指針（2007）が指摘したように、「敬語連結」における表現の冗長感が「表現が気になる」という回答をもたらしたと考えられる。

● 敬称

患者様				東芝さん、日立さん、日産さん				鈴木課長			
5	印+	印-	合計	9	印+	印-	合計	14	印+	印-	合計
表+	30(A)	4(B)	34	表+	32	1	33	表+	23	1	24
表-	4(C)	11(D)	15	表-	8	8	16	表-	4	21	25
合計	34	15	49	合計	40	9	49	合計	27	22	49

表5. 敬称

5番「患者様」は、15名の回答者が「表現が気になる」としている一方、34名の回答者が「印象が良い」としている。「患者様」の呼び方について、金田一（2002：12）は、「患者」という言葉自体がすでに悪い印象を与えるため、いくら「さま」をつけてもらってもうれしくない。「病人さま」「怪我人さま」「老人さま」など、いくら頑張っても敬うことにならないと指摘しているが、大学生の許容度は高く現れた。

9番「東芝さん、日立さん、日産さん」は、16名の回答者が「表現が気になる」とし、40名の回答者が「印象が良い」としている。野口（2009：97）は、日本語の丁寧語化の一環として、サービスを提供する立場の人間が客の名前に「様」をつけることが一般的になって、これまで人名に添えられていた「さん」は企業、組織、団体名につくようになり、大人たちの過剰な「さん付け」が大学生に刷り込まれていると指摘している<sup>vi</sup>。

14番「鈴木課長」は、25名の回答者が「表現が気になる」としながらも、27名が「印象が良い」と答えている。本来、外の人に対して身内を高めては行けないというルールに沿って、「鈴木は」または「課長の鈴木は」というべきであるが、約半数の回答者が違和感を覚えないという回答である。すなわち、話し手の身内（話し手自身の属する組織の者）に対する敬称の規範性の揺れが進んでいると言えよう。

● マニュアル敬語

領収書になります				千円からお預かりします				お会計の方、…			
13	印+	印-	合計	19	印+	印-	合計	22	印+	印-	合計
表+	34(A)	2(B)	36	表+	36	0	36	表+	29	4	33
表-	5(C)	8(D)	13	表-	5	8	13	表-	5	11	16
合計	39	10	49	合計	41	8	49	合計	34	15	49

表6. マニュアル敬語

表6における表現は、接客の場面における言語使用、すなわちマニュアル敬語である（バイト敬語とも呼

<sup>vi</sup> このような現象について、井上（1999：62）は「敬意低減の法則」、井出（2006：173）は「使い減り」と呼んでいる。

ばれる)。13番「領収書になります」は、36名の回答者が「表現が気にならない」とし、39名の回答者が「印象が良い」と答えている。野口（2013：107）は、「合計して二千五百円になります」「今年八歳になります」「この町に住んでもう二十年になります」は、「合計二千五百円です」「今年八歳です」「この町に住んでもう二十年です」と言い換えることができ、「～になります」は「～です」「～でございます」と同じ表現だという勘違いから生じる誤用という。しかし、今回の調査における大学生の許容度はかなり高く現れている。

19番「千円からお預かりします」は、36人の回答者が「表現が気にならない」とし、41名が「印象が良い」と答えている。また、22番「お会計の方、1万円でございます」は、33名の回答者が「表現が気にならない」とし、34名が「印象が良い」としている。すなわち、「マニュアル敬語」は、多くの大学生がアルバイト先で頻繁に接するところから大学生にとっては定番化していると言えよう。こうした若者の「マニュアル敬語」の使用の増加について、洞澤・岡（2006：30）は、敬語を苦手とする若者たちは、「バイト敬語」を使うことによって、お客との間に円滑なコミュニケーションをとり、店員としてアルバイトの業務を問題なく、また無難にこなせる、という心理要因を指摘している。

### ▲ 謙譲語

お待ちしてください				いただいでください				御出発される予定です			
3	印+	印-	合計	16	印+	印-	合計	20	印+	印-	合計
表+	7 (A)	4 (B)	11	表+	3	2	5	表+	14	2	16
表-	7 (C)	31 (D)	38	表-	8	36	44	表-	10	23	33
合計	14	35	49	合計	11	38	49	合計	24	25	49

表7. 謙譲語

16番「いただいでください」は44名の回答者が「表現が気になる」としている。この誤用は「相手に謙譲語を使用する」という点にあるが、16番を見る限り、多くの回答者が、この規則を知っていることが分かる。しかし、同様の誤用である3番「お待ちしてください」は38名、20番「御出発される予定です」は33名と、16番に比べると「表現が気になる」という回答数が少ない。これはなぜだろうか。

3番「お待ちしてください」の場合、やはり尊敬語との混同が原因と思われる。尊敬語では「お待ちください」となるが、両者は冒頭の「お待ち」の部分が共通している。これが混同の原因である。「待ってください」だと、動詞「待つ（待つて）」の前に「お」が無いために失礼ではないかと推測してしまい、「お」を付けようと思う。しかし、ここで、尊敬語と謙譲語の形式が似ているために、どちらが正用であるかを迷ってしまうのである。

20番「御出発される予定です」の場合は、敬語の指針（2007：36）でも述べられているように<sup>vii</sup>、「御出発+される」と捉える余地があるために、これを正用とする割合が高くなるものと思われる。あるいは、例えば「出発される」は正用の1つだが、上述のように、「出発」の前に「御」が無いと不安になってしまうため

<sup>vii</sup> こうした表現について、敬語の指針（2007：36）では次のように解説している。規範的には、「適切な敬語」だとは位置付けられてこなかった形である。したがって、現時点では、「利用される・利用なさる・御利用になる・御利用なさる」などが適切な形だと言える。一方、「御利用される」を使う人は、その言葉の成り立ちを「御利用する+れる」ととらえるのではなく、「御利用+される」という意識で使っていると考えられる。後者のような成り立ちの言葉として受け止めるならば、「御利用される」は尊敬語としてあり得る形だと言える。ただし、「御利用される」の「御……さ」の部分が、「ご……する」という謙譲語Ⅰの形であり、これに「れる」という尊敬語が付いた＜謙譲語Ⅰ＋尊敬語＞の組合せ、すなわち「御利用する+れる」の形だと見られることなどから、規範的には、適切な敬語ではないとする考え方が有力である。

に「御出発」とし、そこに「なされる」が続く（正用）のか、「される」が続く（誤用）のかで混乱してしまうのだろう。

以上から分かるのは、多くの回答者が「相手に謙譲語を使用する」のは誤用であることを理解しているが、形式が難しくなるほど混乱してしまう、ということである。「いただく」は特殊な謙譲語形式なので、「お／ご～（して）ください」といった煩雑な変換をする必要がない。このような易しい形式の場合は、誤用が生じにくいわけである。

しかし、ここで注目したいのは、16番「いただいでください」について、「表現が気になる」としながらも、「印象が良い」と回答した者が8名いて、3番「お待ちしてください」の7名や、20番「御出発される」の10名と、ほとんど変わらないことである。ここから、文法的に誤っていることを了解した上でも、何らかの丁寧さの要因が盛り込まれているならば、良い（少なくとも悪くはない）印象を受け取る者が一定の割合で存在することが分かる。

### ▲ 不均衡な表現

声かけください				開催してございます				お味見もいただいております			
8	印+	印-	合計	15	印+	印-	合計	17	印+	印-	合計
表+	22(A)	3(B)	25	表+	9	3	12	表+	1	2	3
表-	12(C)	12(D)	24	表-	9	28	37	表-	12	34	46
合計	34	15	49	合計	18	31	49	合計	13	36	49

表8. 不均衡な表現

17番「お味見もいただいております」は、明らかに不自然な表現であると感じられる。本来は「お味見いただいております」あるいは「お味見いかがですか」などとなるところである。「表現が気になる」という回答は46名に上り、この表現の不自然さを裏付けている。

しかし、注目したいのは、「表現が気になる」としながらも、同時に「印象が良い」と回答した者が12名いたことである。ここから、回答者の大学生は、たとえ表現に文法的な問題があったとしても、何とかして丁寧さを込めようという話者の努力が認められるなら、そのことによって印象が良くなる、と捉えていることが分かる。

8番「声かけください」（本来は「声をおかけください」など）や、15番「開催してございます」（本来は「開催しております」など）についても、表現が気になりながらも、印象が良いと回答した者が、それぞれ12名・9名と少なくなく、17番と同様の傾向を示している。

### ▲ さ入れ言葉

休ませてください				やらさせていただきますのですが				帰らせてください			
1	印+	印-	合計	6	印+	印-	合計	12	印+	印-	合計
表+	13(A)	5(B)	18	表+	21	1	22	表+	6	7	13
表-	11(C)	20(D)	31	表-	7	20	27	表-	4	32	36
合計	24	25	49	合計	28	21	49	合計	10	39	49

表9. さ入れ言葉



「さ入れ言葉」というのは、五段動詞の使役形が「～せる（例：歌わせる）」でなく、「～させる（例：歌わせる）」のように「さ」が挿入される誤用である（五段動詞では、「さ」の挿入は文法的に不要である）。この「さ入れ」現象について、佐野（2008：101）は「～させていただく、～させてもらう」という句へと文法化しつつある」という分析を行っている。

そのように見てみると、12番「帰らせてください」の「表現が気になる」が36名で、「印象が良くない」が39名と、評価が低いのも頷ける。12番においては「させる（て）」に後続するのが「いただく」ではなく、「ください」だからである。つまり、12番のような「～させていただく」以外の形式では、文法化が進んでいないため、許容度も低いままなのだと考えられる。

1番「休まさせていただきます」と6番「やらさせていただきますたいのですが」は、12番に比較して許容度が高い。佐野（2008）の考察に従えば、これは「～させていただく」という句への文法化が進んでいるから、と解釈できる。

しかし、この両者のうちでも、6番の方が文法的な許容度も高く、印象も良い。例が少ないので断定的には言えないが、1番の「～ていただきます」という形式よりも、より丁寧な6番の「～ていただきたいのですが」という形式においての方が、より文法化が進んでいる、と言えるかもしれない。

### ▲（さ）せていただく

深く反省させていただきます				発表させていただきます				入籍させていただきます			
11	印+	印-	合計	18	印+	印-	合計	24	印+	印-	合計
表+	17(A)	3(B)	20	表+	43	0	43	表+	32	1	33
表-	3(C)	26(D)	29	表-	4	2	6	表-	7	9	16
合計	20	29	49	合計	47	2	49	合計	39	10	49

表 10. （さ）せていただく

「（さ）せていただく」について顕著なのは、18番「発表させていただきます」の文法的な許容度の高さと印象の良さである。49名中43名が「表現が気にならず」「印象が良い」と答えている。

敬語の指針（2007：40-41）によると、「（さ）せていただく」という表現は、「相手側または第三者の許可を受けて行う」行動について用いられる、という<sup>viii</sup>。

11番「反省させていただきます」の許容度が低いのは、「反省する」というのは、あくまで個人的な行動であり、誰かの許可を必要とするものではないからである。そのことについては回答者も理解していることが見て取れる。

24番「入籍させていただきます」については、11番より許容度が高い。これは「女優」というものは、そのファンの許可なくして結婚してはいけない、というような見方に基づくのだろう。「女優」の側から言えば、ファンの心理を慮って、このような表現を選択するわけである。

<sup>viii</sup> 敬語の指針（2007：40-41）では、「（お・ご）……（さ）せていただく」といった敬語の形式について、基本的には、自分側が行うことを、ア）相手側または第三者の許可を受けて行い、イ）そのことで恩恵を受けるという事実や気持ちのある場合に使われる。したがって、ア）、イ）の条件をどの程度満たすかによって、「発表させていただきます」など、「…（さ）せていただく」を用いた表現には、適切な場合と、余り適切だとは言えない場合とがあるとす。例えば、自己紹介の表現として「私は、〇〇高校を卒業させていただきました」について「私は、卒業するのが困難だったところ、先生方の格別な御配慮によって何とか卒業させていただきました。ありがとうございました。」などという文脈であれば、必ずしも不適切だとは言えなくなるという。なお、ア）、イ）の条件を実際に満たしていなくても、満たしているかのように見立てて使う用法があり、それが「…（さ）せていただく」の使用域を広げている。その見立てをどの程度自然なものとして受け入れるかということが、その個人にとっての「…（さ）せていただく」に対する「許容度」を決めているのだと考えられるという。

18番「発表させていただく」であるが、回答者が大学生であることを考えると、発表の許可を与えるのは教員である。教員は学生にとって、「単位の与奪」という大きな権限を有した存在である。したがって、「発表させていただく」という表現が、大学生にとって「第三者から許可を得て行動を起こす」という「正当な理由」に基づくことは、想像に難くない。

そう考えてみると、24番についても、芸能界に興味のある年頃の大学生自身がテレビなどで見聞きする女優の結婚話に一喜一憂するということは大いにあり得、そこから「ファンの心理を無視して入籍することは失礼である」という見解に至るのは自然であろう。「表現は気になるが、印象は良い」と回答した者が7名いることから、そのような女優側の配慮は、たとえ表現に問題があると捉えられても、必然性を感じられるため、印象を良くする方向に作用するのである。

一方、11番については、そうした第三者の許可を想定することが、大学生にとっても非常に難しい。そのため、「させていただく」の必然性を感じられない。必然性を感じられない場合、表現が気になれば印象も悪くなる。したがって、そのような回答が26名に上る。

ここから分かることは、第三者の許可を必要としない「させていただく」が不自然であることを、大学生は理解している。しかし、どういう行為が許可を必要とするのか、あるいはしないのかについては、それぞれの環境において異なってくる。大学生が置かれている環境においては、この結果は妥当であるだろう。敬語表現の調査、およびその結果分析においては、このような「位相」に配慮することも、非常に重要であると思われる。

#### ▲ 慇懃な表現

お洋服のお色目も…				お代わりもらってもいいですか				ご遠慮させていただいております			
4	印+	印-	合計	7	印+	印-	合計	21	印+	印-	合計
表+	27 (A)	4 (B)	31	表+	39	7	46	表+	27	0	27
表-	6 (C)	12 (D)	18	表-	1	2	3	表-	6	16	22
合計	33	16	49	合計	40	9	49	合計	33	16	49

表 11. 慇懃な表現

7番「ビールのお代わりもらってもいいですか」は、「表現が気にならない」という回答が46名に上り、「印象が良い」という回答も40名に達する。ここから、この表現は大学生に広く受け入れられていると考えて良さそうである。「ビールのお代わりください」では直截的に感じられる場合に、このような「～してもらうことは可能か」と可否を問う表現に変換するものと思われる。この「(～て)もらってもいいですか」は、その他の機会にも多く聞かれることから、大学生にとっては定番化した表現であると言える。

これに対して、4番「お洋服のお色目も良くお似合いでお値段もお手頃」は、文法的な許容度も、印象の良さも低下する。「お」の過剰使用は、年齢層が上の世代を想起させ、大学生自身が聞くことはあっても使うことは少ないと思われる。そのようなことも評価の低下に繋がるのだろう。

21番「携帯のご使用はご遠慮させていただいております」は、4番よりも「表現が気になる」と答えた者が多い。野口(2009:58-60)が指摘するように<sup>ix</sup>、このような表現は「慇懃無礼の代表格」と言えるだろう。

<sup>ix</sup> 野口(2009:58-60)によれば、「ご使用はご遠慮させていただいております」という言い回しは低姿勢のようには見えて、実はそうでもない。遠回しに乗客に依頼しているとも取れるが、どちらかと言うと上からのお達しのように、むしろ失礼な言い方だ。車内という場でのマナーとして守るべきであることに関する命令には相手に判断を委ねる必要性がそれほど高くない。あたかも相手に配慮を示すため、慇懃無礼の代表格とも言えるとする。

何かを禁止することは、相手の行動を制限することであるから、最大限の配慮が必要となる。しかし、丁寧さの要素をいくら重ねたところで、禁止の要請であることに変わりはないわけだから、ある適度な線を越えると、単なる慇懃無礼としてしか受け取られなくなってしまうのである。

## 5. おわりに

本稿では、言葉の変化の過程として現れる敬語表現に焦点を置き、様々な敬語表現に対して、それらの表現における規範性と印象を調査した。そして、この二つの要因の調査に基づき、敬語表現の変化の段階や揺れの原因とは何かについて、分析を試みた。本稿の結果から、大学生の意識に基づいて、過剰敬語を以下の4タイプに分けてみたい。

Aタイプ：現在、正用として認識されている表現（回答者数が  $A \geq 30$ （60%）のもの）

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 5番（患者様）        | 9番（東芝さん、日立さん、日産さん） |
| 13番（領収書になります）  | 19番（千円からお預かりします）   |
| 18番（発表させていただく） | 24番（入籍させていただく）     |
| 7番（もらってもいいですか） |                    |

Dタイプ：現在、誤用として認識されている表現（回答者数が  $D \geq 30$ （60%）のもの）

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 3番（お待ちしてください）      | 16番（いただいでください） |
| 17番（お味見もいただいております） |                |
| 12番（帰らせてください）      |                |

Bタイプ：現在、誤用とは認識されていないが、今後、徐々に使用が減っていくと思われる表現  
（AタイプとDタイプを除く、回答者数が  $B > C$  のもの）

該当なし。

Cタイプ：現在、正用とは認識されていないが、今後、徐々に使用が増えていくと思われる表現

- （AタイプとDタイプを除く、回答者数が  $C > B$  かつ  $D \leq 20$ （40%）のもの）
- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 2番（お亡くなりになられた）              | 10番（お読みになっていらっしゃる） |
| 23番（おっしゃられる）                | 22番（お会計の方、1万円で～）   |
| 8番（声かけください）                 | 1番（休まさせていただきます）    |
| 6番（やらさせていただきますのですが）         |                    |
| 4番（お洋服のお色目もよくお似合いでお値段もお手ごろ） |                    |
| 21番（ご遠慮させていただいております）        |                    |

今後もAタイプは安定的に使用され続けていくだろうし、Dタイプは誤用と認識され続けていくだろう。一方、Bタイプがゼロで、Cタイプが多数であったことは、やや予想外であった。大まかな傾向としては、正用のAタイプあるいは誤用のDタイプのどちらであるとも（自信を持って）判定することができない表現については“とりあえず好意的に受け入れる”という大学生の「進取性」を見て取ることはできるだろう。

本稿で用いた調査方法は、敬語表現に対する具体的かつ体系的な調査を可能にするため、敬語教育の資料としても有効活用することができると思う。今後は、性別や年代別、地域別などといった多様な属性による調査が必要である。

## 参考文献

1. 朝日祥之・松田謙次郎（2008）「敬語研究と実時間的言語変化研究との接点を求めて」『社会言語科学』11-1、pp.39-50. 社会言語科学会
2. 井出祥子（2006）『わきまへの語用論』大修館書店
3. 井上史雄（1986）「言葉の乱れの社会言語学」『日本語学』12、pp.5-12. 明治書院
4. 井上史雄（1999）『敬語はこわくない—最新用例と基礎知識—』講談社現代新書
5. 井上史雄（2009）「言語変化の成人後採用—文化庁世論調査による「お」の系譜—」『計量国語学』27-3、pp.81-103. 計量国語学会
6. 井上史雄（2010）「「お」の使い分けにみる美化語の循環過程—「お使い分け」データの解釈—」『日本語の研究』6-4、pp.63-78. 日本語学会
7. 菊地康人（1997）「変わりゆく「させていただく」」『言語』26-6、pp.40-47. 大修館書店
8. 金田一春彦（2002）『日本語を反省してみませんか』角川書店
9. 佐野真一郎（2008）「『日本語話し言葉コーパス』に現れる「さ入れ言葉」に関する数量的分析」『言語研究』133、pp.77-106. 日本言語学会
10. 滝浦真人（2005）『日本語の敬語論—ポライトネス理論からの再検討—』大修館書店
11. 野口恵子（2009）『バカ丁寧化する日本語—敬語コミュニケーションの行方—』光文社新書
12. 野口恵子（2013）『失礼な敬語—誤用例から学ぶ、正しい使い方—』光文社新書
13. 河正一（2013）「関連性理論から見た敬語の過剰使用とその語用論的効果—慇懃無礼を中心に—」『日語日文研究』87-1、pp.233-257. 韓国日語日文学会
14. 河正一（2015）「敬語の過剰使用に関する日韓対照研究」『韓国語教育研究』5、pp.210-228. 日本韓国語教育学会
15. 河正一・山中信彦（2012）「質問紙調査に基づく「慇懃無礼」の意味論と語用論—原型とポライトネスの観点から—」『計量国語学』28-4、pp.125-152. 計量国語学会
16. 姫野伴子（2004）「「～させていただく」文の与益・使役者と動作対象について」『留学生教育』6、pp.1-12. 埼玉大学留学生センター
17. 文化庁「国語に関する世論調査」  
[http://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/kokugo\\_yoronchosa/](http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/)
18. 文化庁「敬語の指針」[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai\\_6/pdf/keigo\\_tousin.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai_6/pdf/keigo_tousin.pdf)
19. 洞澤伸・岡江里子（2006）「「バイト敬語」を使う若者たち—話し手の心理と聞き手の印象—」『岐阜大学地域科学部研究報告』19、pp.1-31. 岐阜大学
20. 山里優（2010）「「さ入れ言葉」の増加について」『国文学』94、pp.96-112. 関西大学国文学会

付録

種類	結果
二重敬語 (敬語連結)	2番 (お亡くなりになられた) : A (51.0%) > D (34.7%) > C (8.2%) > B (6.1%) 10番 (お読みになっていらっしゃる) : D (40.8%) > A (28.6%) > C (24.5%) > B (6.1%) 23番 (おっしゃられる) : A (51.0%) > D (34.7%) > C (8.2%) > B (6.1%)
謙譲語	3番 (お待ちしてください) : D (63.2%) > A=C (14.3%) > B (8.2%) 16番 (いただいでください) : D (74.5%) > C (16.3%) > A (6.1%) > B (4.1%) 20番 (御出発される予定です) : D (46.9%) > A (28.6%) > C (20.4%) > B (4.1%)
不均衡な表現	8番 (声かけください) : A (44.9%) > D=C (24.5%) > B (6.1%) 15番 (開催してございます) : D (57.1%) > A=C (18.4%) > B (6.1%) 17番 (お味見もいただいております) : D (69.4%) > C (24.5%) > B (4.1%) > A (2.0%)
さ入れ言葉	1番 (休まさせていただきます) : D (40.8%) > A (26.5%) > C (13.9%) > B (10.2%) 6番 (やらさせていただきますのですが) : A (42.9%) > D (40.8%) > C (14.3%) > B (2.0%) 12番 (今日はこれで帰らせてください) : D (65.3%) > B (14.3%) > A (12.2%) > C (8.2%)
(さ) せて いただく	11番 (深く反省させていただく) : D (53.1%) > A (34.7%) > C=B (6.1%) 18番 (発表させていただく) : A (87.8%) > C (8.2%) > D (4.1%) > B (0%) 24番 (入籍させていただく) : A (65.3%) > D (18.4%) > C (14.3%) > B (2.0%)
敬称	5番 (様付け : 患者様) : A (61.2%) > D (22.4%) > C=B (8.2%) 9番 (さん付け : 東芝さん、日立さん、日産さん) : A (65.3%) > D=C (16.3%) > B (2.0%) 14番 (役職付け : 鈴木課長) : A (47.0%) > D (42.9%) > C (8.2%) > B (2.0%)
マニュアル 敬語	13番 (領収書になります) : A (69.4%) > D (16.3%) > C (10.2%) > B (4.1%) 19番 (千円からお預かりします) : A (73.5%) > D (16.3%) > C (10.2%) > B (0%) 22番 (お会計の方、1万円でございます) : A (59.2%) > D (22.4%) > C (10.2%) > B (8.2%)
懇懃な表現	4番 (お洋服のお色目もよくお似合いでお値段もお手ごろ) : A (55.1%) > D (24.5%) > C (12.2%) > B (8.2%) 7番 (ビールのお代わりもらってもいいですか) : A (79.6%) > B (14.3%) > D (4.1%) > C (2.0%) 21番 (携帯のご使用はご遠慮させていただいております) : A (55.1%) > D (32.7%) > C (12.2%) > B (0%)